



ベトナム工場

ベトナム工場  
年頃から日本では価格競争が厳しくなるとともに、需要増が見込めなくなってきたからです。中国・インドネシア・タイも進出先の候補でしたが、政治的・宗教的なこと、経済状況等を考え、ベトナムに決めました。一番の決め手は、国との相性でした。この頃のベトナムは弊社創業時の日本の状況と似ており、

海外進出のきっかけは、2000年頃からは価格競争が厳しくなるとともに、需要増が見込めなくなってきたからです。中国・インドネシア・タイも進出先の候補でしたが、政治的・宗教的なこと、経済状況等を考え、ベトナムに決めました。一番の決め手は、国との相性でした。この頃のベトナムは弊社創業時の日本の状況と似ており、

さらに、我が社のような規模の企業が順調に進められたのは、身内にベトナムでの社長として派遣できる人材がいたことにあります。息子3人が交替で現地に駐在し、社長業を営んでいます。日本人1名の他は、現地従業員となっています。

興味を持って関わり、困難も乗り越えていく  
我社は、京都市北区に本社をおき、寝装インテリアの製造販売や繊維製品の真空包装加工をしています。2002年10月にベトナムのホーチミン近くの工業団地に、クッション・枕の製造拠点として現地法人を設立しました。

発展の可能性を感じさせました。  
実際のところ、ベトナム国内だけでは原材料の調達に難しく、近隣諸国から新たな仕入れ先を開拓していく必要があったり、インフラや労働者の問題など苦労も沢山ありました。しかし、常にあきらめずに続けていけば、いつかは晴れる時がくると信じて進んできました。進出にあたっては、身構えず興味を持ち、問題が出てきたら解決に努力することです。また、何度も現地に足を運ぶことが大切だと思っています。

アジア圏そして世界を市場に  
現在は、ベトナムでの販売に力を入れていきます。インテリア・寝具シヨップへの販売や、ベトナムに複数店舗をもつ欧州の大手量販店と取引をしています。日本での流通ルールが通じないので、現金で商品交換するなどの苦労はありますが、潜在顧客が見込め、市場としての魅力があります。現在では、ベトナム国内の販売の比率は日本への輸出をはるかに上回っています。

アジアビジネスを  
レポート!

京都  Asia 

京都からアジアに進出し活躍する企業と、アジアビジネス相談デスクアドバイザーからアジア各国を紹介します。

今回は・・・

ベトナム進出企業  
REPORT

株式会社アライ  
代表取締役 荒井 正一



所在地：京・北区上賀茂ケケ垣内町6-1  
TEL:075-781-8231  
事業内容：クッション・抱き枕等軽寝具の真空包装（加）（製）（販）・繊維製品の防災備蓄に関わる真空包装

**ARAI VIETNAM CO., LTD.**

所在地：No101/1-3 AMATA Industrial Park, Long Binh Ward, Bien Hoa City, Dong Nai Province, VIETNAM.  
設立：2002年10月  
事業内容：寝装インテリア製品（製）（販）。主に真空バッククッション・ピロー・寝装品の縫製



●アジアビジネス相談デスクアドバイザー●  
一般社団法人日本アジア貿易協会  
代表理事 瓶割 斉

近年のベトナムの発展は良好な日越関係にあり

昨年、日本とベトナムとの『友好40周年』を迎え、想像以上の経済交流が進み、中・小を問わず、企業間のビジネス交流が活発に展開されました。工業団地の開発が進み日系企業の進出誘致が活発化、特に、ドンナイ省の工業団地では関西地区の企業進出が目

立ち、中小企業向けのレンタル工場もオープンし、進出しやすい環境の整備も進んでいます。

最近では、人件費の高騰等による中国のリスクヘッジからアセアン諸国、特にベトナムに生産移転・製造委託パートナー探しをする企業が増えています。消費経済においては、日系の小売業・飲食業の進出も活発化し、生活行動が変化しています。ネット人口は3,100万人（人口比30%）に拡大し、電子商取引も萌芽期に入りました。こうした環境のもと、ベトナムのさらなる発展を確信すると同時に、アセアン諸国の中で大きな魅力を感じます。

アジアビジネス相談デスク 専門アドバイザーによる個別相談室です。お気軽にご利用ください。

お申込み・お問合せ 京都商工会議所 アジアビジネス相談デスク（産業振興部内）  
TEL 075-212-6442 URL://www.kyo.or.jp/management/asiabusiness.html